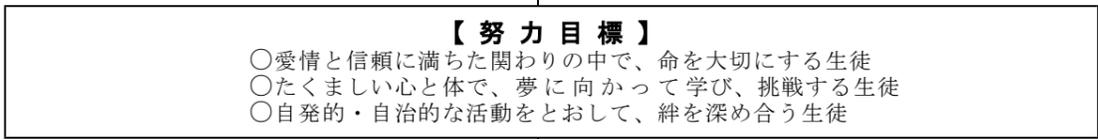


# 令和6年度 青森市立甲田中学校 いじめのない学校・学級づくりのための「心の教育」推進全体計画



育てたい能力・態度等		
自他を尊重する態度	他者と関わり合い高め合う力	課題を解決する力
(1) 自他の違いやよさを認め合う態度 (2) 自己肯定感、自己有用感 (3) 生命を尊重する態度	(1) 他者の立場に立つ想像力 (2) コミュニケーション能力 (3) 人間関係を形成し調整する力	(1) 生活上の諸問題を話し合いや討論で解決する力 (2) 情報モラルと情報に対する責任感
育成する上での配慮事項		
○主体的に取り組む共同的な活動を通して、他者から認められ、他者の役に立っているという「自己有用感」を生徒自ら感じ取る「絆づくり」の推進・充実 ○生徒が安心できる、自己存在感や充実感が感じられる「居場所づくり」の推進・充実		

重点目標
○いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。 ○生徒一人一人の自己有用感を高め、自尊感情及び自他を尊重する態度を育む教育活動を推進する。 ○いじめの早期発見のために、アンケートの実施、複数の教員による観察や情報交換などの様々な手段を講じる。 ○いじめの早期対応・早期解決のために、当該生徒の安全を保障するとともに、学校内だけでなく各種団体や専門家と協力して解決にあたるよう連携を深める。 ○学校と家庭、地域が協力して、事後指導にあたるように連携を深める。

各教科における取組	
確かな学力の定着・わかる授業の実践・授業規律の定着 コミュニケーション能力の育成（言語活動の充実）	
国語	相手の立場や考えを尊重しながら自分の考えをまとめ、互いに伝え合う力を高める。
社会	個人の尊厳と人権の尊重の意義を広い視野から正しく認識し、個人の責任について気づかせる。
数学	事象を数理的に考察し筋道を立てて考え、表現する力を高める。
理科	自然と人間の関わりを認識させることにより、生命を尊重する態度を育成する。
音楽	音楽を愛好する心情や音楽に対する感性を育むことにより、崇高なものを尊重する態度や豊かな情操を養う。
美術	美術を愛好する心情や豊かな感性を育むことにより、崇高なものを尊重する態度や豊かな情操を養う。
保健体育	集団でのゲームなど運動することを通して、ルールを守る意識や集団に参加し協力する態度を養う。
技術・家庭	進んで生活を工夫し、創造しようとする態度を育み、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考えさせる。
外国語	自国や外国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

特別の教科 道徳、特別活動、総合的な学習の時間における取組	
<b>特別の教科 道徳</b>	学校教育全体を通して、生徒一人一人が人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培い、学校、社会生活において生かすことができるように、道徳的な心情、判断力、実践意欲を養うとともに、自己肯定感や自尊感情および自他を尊重する態度の育成を図る。 < 関連ある内容項目 > 思いやりの心、友情の尊さ、寛容の心、感謝の心 誇りある生き方、夢や希望など喜びのある生き方 自他の生命の尊重、差別や偏見のない社会の実現 集団生活の向上、集団の一員としての自覚 ・月に最低一度、上記内容を重点指導事項として取り上げ、指導の充実を図る。 ・学期に一度、共通の題材を用いて、「命の大切さ」についての指導を行い、その学習の結果を道徳通信で保護者に発信する。
<b>特別活動</b>	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図るとともに、人間としての生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う。 < 学級活動 > ・学級や学校における生活上の諸問題を解決する話し合い活動の場の設定と充実 ・班係会議の話し合い活動を通じた人間関係形成能力の育成 ・生徒のコミュニケーション能力の育成 ・望ましい人間関係の確立を目指した班、係活動の充実 < 生徒会活動 > ・生徒の自発的・自治的な活動を支える委員会活動の充実 ・学校行事の企画や運営 ・いじめ防止に向けての標語コンクールの実施 < 学校行事 > ・係、委員会、JUMPチーム活動への積極的な参加 ・友達と分かり合える楽しさやうれしさを実感できる行事の工夫 ・集団生活の在り方や公衆道徳など、公共精神を育むための望ましい体験活動の推進
<b>総合的な学習の時間</b>	生徒の自立を促すために、キャリア教育の視点から、学年相応のもの考え方や学び方、社会性が身に付くことを意図した学習活動、各学年のテーマに基づいた探究学習を通して、健全な勤労観や職業観の育成を図る。 ・学び方やものの考え方を身に付け、自ら課題を見つけて主体的に学習し、課題解決に向けて意欲的に取り組むことができる。 ・学んだことを自己と結び付け、自分の成長を自覚したり、生き方を考えたりすることができる。

小中連携に関わる諸活動
本学区の児童・生徒に関わる学校課題を共通理解し、発達段階や系統性を考慮した継続的な指導を目指す。 ・学力の向上 ・豊かな人間関係を構築する能力の育成 ・コミュニケーション能力の育成 ・思いやりのある言動

生徒の心を耕す諸活動
・読書活動の推進 ・道徳教育の充実 ・あいさつ運動（学級・部活動ごと、学区小学校との連携） ・Jumpチームによる活動（標語コンクール、地域ねぶた参加等） ・スマートフォン、SNS等の使い方に関わる講演会

生活指導・生徒指導との関わり
・生徒理解の深化（情報共有） ・いじめ防止対策委員会の定期的な開催 ・二者面談・三者面談の実施（毎学期実施） ・学校生活に関するアンケート（いじめ調査を兼ねる）の定期的な実施 ・生徒が安心して相談できるように、生徒と保護者との信頼関係づくり ・日常的な生徒の観察と声掛けの実施

教職員研修（校内研修）
・いじめの認知と対応についての共通理解 ・教育相談実施についての共通理解とカウンセリングの在り方についての研修 ・自己有用感、自己肯定感を味わうことができるような生徒活動についての研修 ・分かる授業、授業規律の定着を目指した指導力の向上 ・適切な学習評価についての研修

家庭・地域社会との連携・協力
・いじめやSNS等に関わる日常的・継続的な研修会の実施。 ・学校いじめ防止基本方針の公表 ・地域清掃活動、小学校行事補助、デイケアサービス施設訪問などのボランティア活動を通し、保護者や地域住民とともに住みよい地域をつくりあげていこうとする態度や自己有用感の育成